

幼児文化芸術

心のちから



百年に一度の「コロナ災害」が起こりました。「三密」「ソーシャルディスタンス」という「新しい生活様式」が社会全体に浸透し、オンライン会議や在宅勤務も広がっています。ただ私たち人間のいのちとともに、「心」が被災しないことを願います。

元々私たちの先祖は、四百万年前に森から出て、飢えと感染症をのりこえて、群れで協力する中で「心」を生み出します。そして脳が大きくなり、道具や文明を想像する人間へと進化します。つまり人と人のつながりが生きる力や創り出す力を生んできたのです。今みえないウイルス以上に、みえない心のつながりが、もっとも大切です。

本財団では、心根をつくる幼児期に、一流、本物にふれる文化芸術体験をプログラムしています。ダンス、音楽、日本文化、異文化を観る、聴くだけではなく、実際に表現し、創造することで、心をつなげ、ともに感動を味わえるオリジナルプログラムです。

そして毎年三月には、一年の集大成として会員園の親子が一同に会し、ともに歌い、体験する『幼児文化芸術祭』が開催されます。その中で歌われるテーマ曲「希望の歌」には、こんなフレーズがあります。「♪明日につながる希望をのせて、笑顔の力で世界照らそう♪」感動体験の数々がお子様を育て、コロナ禍をのりこえ、希望の未来を切り拓く「心のちから」となることを信じています。

今年も会員の皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。あわせて一日も早いコロナ禍終息を願っております。

(財) 幼児文化芸術協会 会長 岡田勝彦

2020年7月吉日

第21号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

志だみ幼稚園

民族楽器に親しもう!



六月十日(水)は本園の「わくわくタイム」の日。毎週水曜日、学年の枠を超えて一つのテーマを決めて園全体で遊ぶ取り組みをしています。

今日のテーマは「民族楽器に親しもう!」と題して、アフリカの「ジャンベ」という楽器に触れてみました。毎年数回、そして3年間の中で本物の文化芸術活動に触れる機会を作っています。技や技術の習得ではなく心に響く体験を目的にしています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、踊ったり鈴を鳴らしたりといったみんなで密になることができない中、せめて少しづつでも実際に触れて体験できるようにと間隔を開けてジャンベという楽器を楽しみました。こども達は打楽器が大好きです。それは叩けばすぐに音が出て、自分の思うようになりリズムうちができるからです。講師のムロさんの上手な誘導でピアノとのコラボが実現!見事みんなが「パブリカ」の演奏ができました。



今回は窓を全開に開けて、天井からの扇風機も四台フル回転で十分な換気の中、行いました。そのため外遊びをしている子たちにもジャンベの音も聞こえ、ケンパ遊びなどをリズムに合わせて踊りながらやっていたのも嬉しい発見でした。

会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園(天白区)
- 小幡あさひ幼稚園(守山区)
- 志だみ幼稚園(守山区)
- とみよし幼稚園(愛西市)
- 名古屋西幼稚園(西区)
- 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
- 美里幼稚園(豊田市)

※50音順

栄光八事幼稚園

Hallo! Enjoy English!

今年度、第一回目の文化芸術体験は「英語リトミック」です。

英語リトミック講師・和田亜由美先生のダイナミックなピアノ演奏と流暢な英語でレッツスタート!

「今日の天気はー? Sunny Rainy Stormy」先生の元気な掛け声と共に、楽しいダンスの始まりです。歩いたり、スキップしたり、ストップしたり、ピアノに合わせてテンポよく身体を動かします。

「さて、次はどこに行こうかな? No!」先生が、ジェスチャーで色々な動物のヒントを出すと、子どもたちは、かわいいゾウやウサギ、ペンギンになりきっていました。「さあ、みんなも、真似してできるかな?」と、今度は猫のように背中を曲げたり伸ばしたり...面白い動きをする動物たちがたくさん登場します。もちろん、子どもたちも、はりきってチャレンジしていましたよ!

最後は、「See You!」の音楽に合わせてフイニッシュ!

先生と一緒に、ダンスも楽しみなが、自然に英語に親しむことができました。講師の先生方、楽しい時間をありがとうございました。



文化芸術体験のいろいろ

本物の文化芸術を直接体験するということは子どもたちの五感を刺激します

ヨガ

折り紙

アルパ

フラダンス

パーカッション

和太鼓

琴

抹茶

金管楽器

バレエ